

みらい



初詣(R6.1.3)での集合写真 <波立薬師(いわき市久ノ浜)にて>

障害者入所施設「東洋健生園」の紹介

施設長 渡邊 清竹

いわき市内郷宮町に平成28年6月に新築移転して7年が経過しました。利用定員40名ですが、2/1時点では42名(男子27・女子15)の方が利用しています。自然豊かな環境の中、利用者の居住の場として健康で楽しみのある生活をしています。また、地域住民、行政及び関係機関と連携を図ると共に、短期入所サービスの提供をするなど地域の資源として貢献できるように取り組んでいます。

明けましておめでとうございます
お陰様を持ちまして当協会は今年創業六十年を迎えます。

これ一重に多くの関係する方々と先輩諸氏のご支援の賜物と心より感謝致します。

現在政府は異次元の少子化対策を推進しておりますが、減少に歯止めがかからず、児童入所施設の運営に支障を来す恐れがありますが、驚くことに発達障害児には減少がみられず現在八百名以上の通所児童が在籍しております。

一方益々多様化する地域ニーズに対応すべく努力しておりますが、当協会に於いては東日本大震災で発生した原発事故による放射能の恐怖と各地に離散した家族の元へ帰る職員が多数を占め、特に福祉事業の求人環境が厳しく苦労の連続であります。

更に大震災後採用の職員にとっては、経験年数に制約のある管理者等の資格の取得が困難であり多様化する利用者の要望にいかに対応するか頭を痛めております。

しかしながらマスコミを通しての報道によると二〇四〇年の人口動態及び介護職の不足に対応する時間的余裕は有りません。

創立六十年を創生元年とし、高齢化する施設利用者が健康で生きがいを感じる生活環境を整え地域在住の利用者に対しては、ご家族・関係機関との連携を密にし、共に歩む法人を目指します。

この実現に向かって職員一人一人が福祉事業に従事する事を誇りに思い、その仕事は利用者が幸せな生活を送る手助けをしているという責任と自覚を持てるようよく話し合い、充実した職場作りに邁進致します。

今年も旧年に倍するご指導・ご支援をお願い致します。

令和六年 元旦

理事長 山田莊一郎



特集 施設・事業所紹介

今回は、新しい施設・事業所の中から「そうま楽憩園」と「たむら児童発達支援センター」をご紹介します。
(表紙には「東洋健生園」の簡単な紹介も掲載しましたので、あわせてご覧ください。)

そうま楽憩園 施設長：堀川国芳



(写真後方の「龍」は、段ボールにみんなで色紙を貼りました。上手でしょう！)

が、その後津波警報が出て「すぐに逃げてください、東日本大震災を思い出してください、命を守ってください」と繰り返し避難を呼びかける声がテレビ画面から響いていました。東日本大震災から12年が過ぎましたが、いまだに自然災害等の報道を見たり聞いたりすると目頭が熱くなります。おそらく震災を経験された方々の多くが同じように感じていると思います。ここに暮らす利用者の方々も同じです。何箇所も居場所を変え心も身体も疲れきり落ち着かない生活をしてきました。地震が起きれば怯え不安な表情を見せる。そんな姿を度々見て来ました。

「大丈夫だよ」の一言がいえる施設の万全な災害対策を日々計画していきます。明るく楽しく元気に活動する。そのためにも怪我をしない、病気にかからない常日頃の正常な状態を把握し健康一番で生活を進めていきます。まだ新設1年にもなりませんので完全な基盤は構築されたとは言えませんが、職員一同一丸となって取り組んで参りますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。昨年7月1日に相馬市で事業を開始しました障害者支援施設「そうま楽憩園」です。現在、利用定員36名のところ生活介護・入所支援共に男性25名、女性11名(計36名)の皆さんが利用されています。年齢は22歳から75歳と祖父母と孫のような年齢差がありますが、毎日一緒に食事をしたり、創作活動をしたり、小旅行をしたりと生活を共に過したり、話をしたりして接することで、相手に対し少しずつ興味を持ち距離が縮まり、尖っていた角も丸くなってここの雰囲気が出てきたと感じています。

新年早々の令和6年1月1日、突如テレビ番組が緊急地震速報に変わり石川県(能登半島地震)で最大震度7のニュース

たむら地方児童発達支援センター 所長：持舘純子



正面玄関



個別指導のワンシーン

～管理者としての施設運営の思い～

当法人が、田村地区において障害児通所支援事業所を最初に開所したのは、平成22年のことです。

それから10年の間に4か所の「のびっこらんど」が開設され、地域の療育支援を担うかたちとなりました。その中で地域のニーズも明確になってきました。具体的には、早い段階で家族が気軽に発達相談できる場所の必要性、行政・幼稚園・学校・相談支援など関係機関の連携をより深めたい、などの課題が明確となり、令和4年にここ「たむら地方児童発達支援センター」の開設となりました。

前身は「のびっこらんど船引」で、すでに放課後等デイサービスは行っていましたが、そこへ未就学児の児童発達支援と保育所等訪問支援が加わりました。児童への療育はもちろんですが、ワンストップの相談窓口の設置、ご家族や関係機関への学習会・研修なども行い、多方面から地域の未就学児・就学児童の発達支援を支える仕組みを作っていければと考えています。

お子さんが地域で安心して健やかな成長ができるよう、地域の皆様と一緒に環境を作っていきたいと思っています。





特集 年始行事

東洋学園
児童部

東洋学園児童部、みんなで初詣へ！

1月3日(水)に、お正月行事として橋葉町にある北田天満宮に初詣に行きました。バスの中では綺麗な海を見ながら「海キラキラ」など会話を楽しんでいました。

参拝の作法を事前に確認し、いざ実践！大きな鈴を見て「鳴らしていいの？」と少し緊張していましたが、しっかりと年始の挨拶、受験生は合格祈願をすることができました。

初詣のあとは、おやつを食べました。みんなで食べたおやつはおいしかったね！今年も1年よろしく願いいたします。



東洋学園
成人部

「初詣に行ってきました！」

1月5日(金)に初詣に行ってきました！

お参り先は、橋葉町の北田天満宮です。皆さん「今年一年健康に過ごせますように」「美味しいものをいっぱい食べられますように」など思い思いの願い事をしたようです。また、久しぶりの外出に喜ぶ利用者さんも多く、心身共にリフレッシュできたようです。

今年一年皆様にとって良い一年になりますように！



のびっくらんど
原町

初詣

1/6

新年と言えば初詣。「そうだ！神社行こう」……というわけで学童さんを対象に電車で相馬の神社へお出かけしました。電車に乗ってお出かけする機会はほとんどない為みんなワクワク……神社の境内はとても広く、お散歩としても楽しめました。お昼はお弁当を購入し、みんなで会食。今年も笑顔溢れる楽しい一年になりそうです。



たむら地方児童
発達支援センター

「みんなでおもちつき！」

1月5日(金)と6日(土)に餅つきを行いました。臼と杵を使って、餅つきに挑戦！「よいしょ～」と元気なかけ声が響いていました。餅つきの後は、あんこ・きなこ・醤油の中から好きな物を選んでトッピングし、つきたてのお餅を皆で美味しく食べました。子どもたちは「美味しかった～」「楽しかった！」と大満足の様子でした！



のびっくらんど
三春

手作り年賀状！

新年あけましておめでとうございます。のびっくらんど三春では、子どもたちの手形を使って手作り年賀状を作りました。保護者さんからは、「子どもの成長を感じられて毎年楽しみにしています」というお声も。大きくなっていく手にスタッフも成長を感じており、毎年デザインするのが楽しみです。今年は、どんな1年になるかととてもワクワクしています。子ども達が笑顔でのびっこに来てくれること、元気にたくさん遊んでくれることを心待ちにしております！本年ものびっくらんど三春をどうぞよろしくお願い致します。





特集 年始行事

のびっこらんど
美山



お正月遊び！



1月6日(土)、8日(月)に行事としてののびっこクラブでお正月遊びを行いました。かるたやだるま落とし、巨大福笑い、けん玉づくりを行いました。だるま落としは、だるまを最後まで残せるように力を調節しながら打ち抜きました！巨大福笑いは、周りのお友達の声を聞いて頑張りました。思わず笑ってしまう顔を見て、みんなで楽しみました♪ 笑い声が溢れ、元気な新年のスタートとなりました！今年も良い一年になりますように。



多機能型事業所
田村

「初詣」

1月6日(土)、大鏡矢神社に初詣に出掛けました。例年より暖かい日で、みなさんそれぞれ今年の目標や願い事を胸に、真剣な表情で手を合わせてました。



のびっこらんど
田村

辰だるま作り

12月25日(月)の集団課題「辰だるま製作」を行いました。午前チームは顔パーツをそれぞれ貼り付けて、午後チームはパーツを貼り付け後に色鉛筆で顔を描きました。顔のパーツをうまく貼ることができた午前チーム☆☆スティックのりの使い方が上手になった午後チーム(^^)どちらも素敵な「辰年だるま」が完成しました。



◎障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

障がい者入所支援施設

東洋育成園

田村市(船引町)

美味しいおやつ作り～クラブ活動～

12月15日(金) 今日はクラブ活動の日♪ 今月の活動は、おやつ作り♪ 今回作ったのは…(ドゥルルル・ジャン：音)「プリン ア・ラ・モード」♪ 15時のティータイムに、みんなでおいしく食べました♪



原町共生授産園

南相馬市(原町区)

年末の大掃除

12月15日(金)と12月23日(土)の2日間、年末の大掃除を行いました。広い作業棟や廊下もみんなで分担して、一年の感謝を込めて、一生懸命磨き上げました。掃除をして、汚れた雑巾を見た利用者さんは「雑巾が真っ黒になった」と達成感を感じている様子でした。みんなで協力してお掃除をして、園内もピカピカに！ 気持ちよく新年を迎える事が出来ました♪



障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

東洋健生園

いわき市(内郷)

メリークリスマス!!

12月25日(月)に施設内でクリスマス会を行いました。昼食にはローストビーフや、ピラフなどをいただきました。午後は、手作りのクリスマスツリーを皆で協力して積み上げ完成させました。また、サンタクロースからプレゼントをもらい大盛り上がり! 年内最後の行事を、美味しく楽しく過ごすことができました!!



あぶくま更生園

田村市(船引町)

★クリスマス会★

12月23日(土)、市内の会場を借りてクリスマス会・忘年会を行いました。久しぶりに保護者に会うことができ大変喜び。弁当やケーキを美味しく頬張る姿、ジャンボリミッキー!を踊りニコニコ笑顔で楽しんでいる姿を見ることができました! 大変な盛り上がりで最後の行事を締めくくりました! 2024年も毎日たくさんの笑顔で溢れるような様々な企画を考えていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。



そうま楽憩園

相馬市(赤木)

クリスマス会にORI☆姫隊が来ました!

12月23日(土)にクリスマス会を開催しました。午前の部は始めにペットボトルボウリングを班対抗で行い、優勝チームとストライク賞の利用者には割れんばかりの拍手で勝利を称えました。その後のプレゼント交換では音楽に合わせてお隣りさんへ。音が止まり、手元の袋が今年のプレゼント。ワクワク感も交換の醍醐味ですね。

午後の部では、秋にORI☆姫米を贈呈してくださった「みちのく仙台ORI☆姫隊」のメンバーお二人が来園してくださりライブを開催! 澄んだ歌声やかっこいいダンスパフォーマンスに大きな歓声と拍手が会場に響きました。終了後は、お返しに利用者からジングルベルの歌とクリスマスプレゼントをサプライズで贈ると涙して感激されていました。2023年最後の行事、最高に盛り上がりました。2024年、皆様にとっても良い年でありますように!



福祉型障がい児入所施設

東洋学園児童部

いわき市(四倉町)

東洋学園児童部、わくわく動物園!

12月26日(火)に、日帰り旅行として動物園へ行きました。当日は天気にも恵まれ、まさに絶好の動物園日和! 子どもたちも動物園へ行くのをずっと楽しみにしていました。「ライオン見たい!」「キリンさんに会いたい!」とそれぞれが期待とわくわくを抱えていざ出発! 想像したよりも迫力ある動物たちに子どもたちも大喜びで、とっても良い笑顔を見せてくれました。みんな、お目当ての動物とは会えたかな? 新鮮な体験ができた楽しい日帰り旅行となりました。



障がい児通所支援事業所

のびっこらんど

いわき市(久之浜町)

大掃除

あけましておめでとうございます。

年末にのびっこの大掃除をしました。ほうきで掃いたり、雑巾でゴシゴシ拭いたり一生懸命お掃除しました。「学校でお掃除しているから得意!」とロッカーの後ろやドアの溝など「ここの汚れている」と自分達で気づいてお掃除をしていました。また送迎車の窓拭きもしました。ピカピカになったところを嬉しそうにスタッフに見せていました。とってもきれいになったよ! ありがとう。2024年もみんなでいっぱい笑って楽しい年にしようね(*^^*)



のびっこらんど相馬

相馬市(中村)

カップケーキ作り♪

12月17日(日)、未就学さん学童さんたちと「これもありでしょ! カップケーキ作り」と題した調理実習を行いました。生クリームを押し出すのは意外とコツがいるようで、保護者やスタッフに手伝ってもらいながらかわいらしいケーキが完成♪「あまくておいしいね!」と笑顔があふれる会になりました。



のびっこらんど悠悠

いわき市(平)

年末の大掃除をしました！

12月26日(火)、年末の大掃除をしました。みんな張り切って、細かいところまで綺麗にお掃除してくれました！まだやってない場所なども自分たちで探して、進んで床の掃除機掛けや雑巾がけ、机拭き、鏡拭きをしてくれました！さすがお兄さん、お姉さんたちですね！！みんなのおかげで気持ちよく新年を迎えることができました♪今年もみんなの笑顔がいっぱい見られますように…(*^^*)



のびっこらんど泉

いわき市(泉町)

キーホルダー作り

1月6日(土)学童さんを対象とし、プラバンを使ってキーホルダー作りをしました。好きなキャラクターをマジックでうつし油性ペン、ポスカを使って色塗りをしました。トースターでプラバンを焼き、小さくなる姿を見て「なんで小さくなるのかな？不思議？」と話す子もいました。スタッフと協力してレジン液をつけ固めて自分オリジナルのキーホルダーを作りました。完成すると嬉しそうに「カバンにつける！」と話して笑顔で持ち帰る姿が見られました♪



のびっこらんどキララ

相馬市(赤木)

じぶんでつくったよ♪

12月のおやつ支援で、プリンアラモード作りをしました。プリンカップの裏のつまみを折って、プリンがゆっくりおりてくるのを見て、まだか、まだか、とワクワクな子どもたち(^^)生クリームやチョコ菓子、フルーツ、カレースプレーなど、好きなものをトッピングしておいしくいただきました。



のびっこらんど愛愛

南相馬市(原町区)

メリークリスマス&1年お疲れさま！

12月22日(金)～12月27日(水)の4日間、集団指導をご利用の学童さんを対象に「クリスマス&忘年会」を行いました。

ビンゴゲームやくつしたバッグの制作、愛愛のイベントでは定番のお菓子のつかみ取りなど、盛りだくさんの内容でした。メインのプレゼント交換は、何がもらえるかワクワクドキドキしながらプレゼントを開けていました。おやつの時間にはシャンメリーやジュースで乾杯し、楽しく年末のひとときを過ごしました。



就労支援事業所・多機能型事業所

おおくま共生園

田村市(船引町)

クリスマス・忘年会 ～笑いヨガ～

12月18日(月)にクリスマス・忘年会のイベントの一環として「笑いヨガ」を行いました。市内病院の講師をお招きし全員で「ワッハッハッハ!!!」と笑顔になりながら身体を動かしました。寒さも吹き飛ばすような笑い声でとても楽しい1日になりました。この笑顔を糧に2024年もおおくま共生園一丸となってクリーニング業務、頑張っていきます！



せきれい

いわき市(四倉町)

誕生日会🍰とクリスマス会🎄

12月16日(土)に利用者皆さん一緒に12月の誕生日会🍰、クリスマス会🎄を行いました。クリスマス会では、お菓子を食べたりクイズ大会を行いました。皆さん、笑顔が見られ終始楽しそうでした。



障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

ワークスペース・アシスト 南相馬市(原町区)

飲んで食べて歌ったよ♪

12/23(土)相馬フローラにて自治会忘年会を開催しました。「今年の嫌なことを忘れて楽しめよう」と所長からの挨拶に始まり、ビュッフェをお腹いっぱい食べてみんな満足そうでした。カラオケも楽しみ、素敵な歌声を聴かせてもらいました。令和6年も楽しんでいきましょう!(*^皿^*)



地域生活支援事業所

相双障害者就業・生活支援センター 南相馬市(原町区)

福島就業支援ネットワーク研修

12月14日(木)、15日(金)に福島就業支援ネットワーク「県内ナカポツ研修会」を南相馬市情報交流センターで開催しました。障がい者の「就労」を中心に支援を行う、就業・生活支援事業は労働局と福島県からの委託事業で、県内に6カ所のセンターがあります。相双圏域について当法人で受託しており、今回の研修では他の圏域の6センターから20名ほどが相双へ集合して研修を行いました。当センターからはセンターの設置の経緯と震災後の支援状況、現在の相双圏域の現状と課題について報告しました。

相談支援相馬事業所 南相馬市(原町区)

相馬支援学校福祉サービス利用ガイダンス

12月22日(金)、相馬支援学校からの依頼で、高等部の1年生と2年生の保護者を対象に支援学校卒業後に利用する福祉サービスについてガイダンスを行いました。この地域で卒業後に利用するサービスを想定して、地域で利用できるサービスを中心に支援の内容や施設情報を伝えました。また、卒業までのタイムスケジュールに合わせて、手続きや準備についてお話ししました。

相談支援田村事業所 田村市(船引町)

横浜市大石クリニック訪問

12月20日(水)、ある依存症を持つ利用者が入居した横浜市にある大石クリニック系列のグループホームと就労継続支援B型事業所にて、担当者会議と施設見学に参加しました。このような依存症に特化した病院や施設は大変珍しく、世界各地から取材に来るとの事でした。大石Drが「依存症は治らない病気である。周りの人たちが依存症というものを良く理解したうえでその人を依存させない環境を作ることが大事である。」と話していたことがとても印象的でした。このような施設が大都市だけではなく近くにあればいいなと思いながら帰ってきました。



グループホーム屋上から
横浜市内を一望できるの
庭には露天風呂ありの

田村地方基幹相談支援センター 田村市(船引町)

つどいの広場～クリスマス会inミットレーベン

12月25日(月)、三春町の「NPO法人ミットレーベン 要田ソーシャルワークセンターアグリット」を会場に、田村地方基幹相談支援センターとつどいの広場に参加されている当事者の方々の企画提案にてクリスマス会を開催しました。ハンバーガー・餃子の皮ピザ・クリスマスケーキを参加者全員で協力し合いながら、作り上げていく姿に感嘆するとともに、完成後は口いっぱいに頬張る満足げな表情が多く見られたことに、企画者も喜ばれておりました。皆様ありがとうございました。

*「つどいの広場」とは、～同じ悩みを語り合い、互いに支え合う場～



相談支援双葉事業所 いわき市(四倉町)

相談・のびっこ合同研修会

12月19日(火)、いわき地区ののびっくらんど3事業所と合同でスタッフ研修会を実施しました。「療育における子どもの「苦手」との向き合い方」というテーマのもと、当事業所のスタッフが話題提供を行いました。お子さんの苦手をどうやって伸ばすか、苦手なことがあっても自信を持って社会の中で生きていくためにはどのような支援をするべきか、参加者全員で考えました。のびっくらんどと相談支援事業所は事業内容こそ違いますが、いわき地区でお子さんの育ちを支える仲間ですので、今後も学び合い高め合いながら業務にあたっていきたいと思っております。



三二特集



干支職員の「今年の抱負、夢…」

当法人のR5.12.1時点での職員数は229名です。その内「年男・年女」は19名(全体に占める割合は8.3%、 $229 \div 12 \text{干支} = 19.08 \text{人}$ なのでほぼ平均値)で、内訳はs39年生3、s51年生5、s63年生3、H12年生8名となっています。代表して7名の職員の「声」です。

『常に感謝する心を忘れず』

多機能型事業所・田村
サービス管理責任者 銭高 相学

年男でのスタートを切る今年は、努力してきた事が実を結んで成就する甲辰(きのえたつ)です。これまで失敗を重ねながらも、諸先輩方からのご指導や同僚に支えられ、精一杯業務に励む事ができました。今後は、自分の経験などを後輩指導に生かし、人材育成に貢献できるよう尽力し、そして自分自身も、充実した一年を過ごせるよう、常に感謝する心を忘れず向上心を持って従事したいと思います。

『今までとこれから』

原町共生授産園
支援員 梅田 祐介

あけましておめでとうございます。私事ですが、今年で入職15年目を迎えようとしております。振り返ると先輩方から利用者さんへの接し方、人としてたくさんの事を学び、多くの人に支えられながら一步一步進んで来たと感じています。今年の抱負は、利用者さんに寄り添い、一人ひとりに合った支援を行っていく事に重点を置きたいと思います。利用者さんが日々笑顔で健康的に生活して頂けるよう、常に努力を怠らない年にしたいと思います。

『これからの目標』

東洋育成園
支援員 荒木 雄紀

皆様、明けましておめでとうございます。前回の年男の時は協会職員となって、2年目の時でした。上司や先輩職員、利用者の皆様、地域住民の皆さまから様々な指導や経験をさせて頂きました。今後は、今までの経験を後輩たちに語り継ぎ、協会のサービスの向上に貢献していきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



『今年の抱負』

のびっこらんど・泉
保育士 新田 真子

あけましておめでとうございます。周りの皆様や元気なお子さんに支えて頂き、おかげさまで新年を迎えることができました。2024年は社会人4年目になる年です。通ってくれるお子さんが健康で楽しく元気に過ごせますように、より一層笑顔あふれる雰囲気づくりに取り組んでいきたいと思っています。そのためには私自身も健康「辰」人を目指して頑張っていきたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

『利用者さんと一緒に成長を』

東洋学園・児童部
保育士 武田 愛花

上司、同僚、子どもたちの笑顔に支えられ、社会人になってから3年が経ちました。子どもたちの成長の速さには驚かされるばかりです。昨年より感染症による規制も緩和され始め、少しずつできることが増えて、子どもたちの元気な笑顔を見る機会も多く嬉しく思います。2024年の辰年は「成長」「開運」の年と言われています。利用者、皆様のより良い成長と幸せを願い、私も負けないよう成長し続けたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

『楽しい日々を過ごしたい!』

のびっこらんど・田村
児童指導員 田中 璃奈

新年あけましておめでとうございます。昨年は新任職員として、学びの多い充実した日々をがむしゃらに駆けぬけ、あっという間の1年でした。そして、子どもたちの元気いっぱいの笑顔や先輩職員の温かい優しさに支えられ、こうして新年を迎えることができました。本年も引き続き、子どもたちと全力で学び、遊び、向き合いながら、楽しい毎日を過ごせたらいいと思います。皆さま、今年もよろしくお願いいたします。

寄付

令和5年12月28日 (株)不二建設 社長 白岩不二男さんが来園し、「東洋健生園を応援しています。施設のためにお役立てください」と多額の寄付を頂きました。御好意に関して有意義に活用させていただきます。(株)不二建設さんからは、毎年心温まるご支援をいただいております。いつもお気遣いくださり、ありがとうございます。

東洋健生園利用者・職員一同より

編集後記

新年は、大きな自然災害・事故で明けたという印象ですが、広報誌「みらい」は、施設・事業所の紹介や管理者としての思いなどを盛り込みながら、引き続き年4回(1・4・7・10月)の定期発行を目指して頑張ります。よろしくお願いします。

＜入職者＞

ドヘイロンサード
東洋学園児童部 支援員 ドレイク ケアリイ
おおくま共生園 支援員 大和田 文 男
東洋学園児童部・成人部 施設長 三 瓶 佳 治